一般社団法人日本ゼオライト学会
2018 (平成30)年度社員総会
議事録

１．日時：2018（平成30)年6月11日(月）17:00～17:45

２．場所：東京大学　武田先端知ビル5F　武田ホール
（東京都文京区弥生2丁目11-16）

３．出席役員
理事：松方正彦，大久保達也，壱岐英，西山憲和，片田直伸，武脇隆彦、遠藤明
監事：辰巳敬

４．議長　代表理事　松方正彦

５．議事録署名人　議長　松方正彦，出席理事　大久保達也，出席理事　武脇隆彦

６．議事録作成　理事　遠藤明

７．議事の経過の要領およびその結果

出席社員	議決権のある社員の総数	286名
	出席社員総数	103名（うち、委任状60通）

上記の通り定足数(58)に足る社員の出席があったので、議長は開会を宣し、下記の通り議事に入った。

審議事項１．平成29年度貸借対照表の承認
審議事項２．平成29年度正味財産増減計算書の承認

壱岐財務委員長より、平成29年度貸借対照表および正味財産増減計算書の説明が行われた。引き続き、辰巳監事による監査報告が行われた。丹羽監事とともに2名で監査を行い、会計書類に加えて、定款の通り事業を行っていること、理事の職務執行について問題がないことを確認した旨が報告された。

続いて、以下の通り質疑応答が行われた。

（質問）会員増減報告があったが、収入減少からみて相当会員数の減少があったのではないか。今後の対策は何かあるか。
（回答）
片田庶務理事：会員数の変遷（資料をプロジェクターで表示）をみると、法人会員はマイクロメリティクス社の退会により1減、一方、一般会員とシニア会員の小計は変わらず、学生会員は増えている。ただし年齢情報がわかった段階でシニア会員に自動的に移行するようになり、一般会員が減り、シニア会員が増えているので収入はやや減っている。法人会員については、退会の申し出が水面下で起こっており引き留めている状況もあるが、関連諸学会よりは減少は少ない。
松方代表理事：現状の法人会員依存から収入を個人会員メインにシフトしていくこと

を理事会において議論している。

以上の質疑応答の後、審議事項１．および２.は全会一致で承認された。

審議事項３．平成30年度理事・監事の選任

　松方代表理事より、理事・監事の選任方法についての説明が行われた後、会場から立候補・推薦を募ったところ、立候補・推薦者はいなかった。続いて、松方代表理事から以下の候補者が推薦され、これをプロジェクターで表示し、１名ずつ賛否を問うたところ全候補者が全会一致で承認された。

平成30年度理事：
壱岐英，遠藤明，大久保達也，小川宏，片田直伸，窪田好浩，西山憲和，前田和之，松倉実

平成30年度監事：
佐野庸治，辰巳敬（辰巳敬氏は今回は改選ではなく留任）

審議事項４．その他
　特に新しい審議事項は提出されなかった。

報告事項１．平成29年度事業報告

　片田庶務理事より、平成29年度事業報告（総会および理事会の開催状況と審議事項、主催事業の実施状況、編集委員会および企画・広報委員会の状況）についての説明が行われた。説明の後、質問が受け付けられたが、質問はなかった。

報告事項２．平成30年度事業計画

　片田庶務理事より、平成30年度事業計画の説明が行われた。説明の後、質問が受け付けられたが、質問はなかった。

報告事項３．平成30年度収支予算

　壱岐財務委員長より、平成30年度収支予算についての説明が行われた。続いて、松方代表理事より、中長期的な学会予算に関する考え方についての補足説明があった。説明の後、質問が受け付けられたが、質問はなかった。

報告事項４．編集業務委託について
　西山編集委員長より、現在編集幹事が行っている編集業務を国際文献社に委託することについての説明があった。また、それに伴う編集増額に対して、編集委員会としては広告を増やしたいとのアナウンスがあった。説明の後、質問が受け付けられたが、質問はなかった。

報告事項５．その他
　特に新しい報告事項は提出されなかった。

以上をもってすべての議事が終了したので，議長は17時45分閉会を宣した．
上記の内容を明確にするため，本議事録を作成し，議長及び議長の指名する出席理事 2 名が次に記名押印する．

平成30年6月11日

一般社団法人日本ゼオライト学会平成30年度社員総会

議長　代表理事会長　　代表印

出席理事　　印

出席理事　　印